

# 新宿

# ビズタウンニュース

目次

大人のまち荒木町で新規逸店 ..... 1-3    インフォメーション ..... 6-8  
活き活き企業FOCUS ..... 4-5    新宿区中小企業の景況 ..... 8

No. 27  
平成26年12月31日号

「商店街空き店舗活用支援融資」を利用して

## 大人のまち荒木町で 新規逸店



いま都市部の商店街には、量販店やチェーン店の増加や商店自体の後継者不在を背景に、やむなく看板を下ろしてしまった「空き店舗」が増えています。しかしその一方で、新たに店舗を出店したいニーズもあります。

空き店舗有効活用への支援事業として、新宿区は平成24年度より「商店街空き店舗活用支援融資」を実施しています。今回訪れた3店は、いずれもこの制度を利用して新宿・四谷地区の荒木町に創業した店舗です。

飲食店街としても歴史ある荒木町で実現させた店主の「夢」をご紹介します。



### 荒木町とは？

「四谷三丁目」駅から「四ツ谷」駅に向かう新宿通りの北側に位置する飲食店街。金丸稲荷神社、津の守弁財天、かっぱ池（むちの池）などを配し、かつて花街だった面影を残す風情ある地域。



## 酒菜 ねむ太郎

昼は和定食、夜はお酒と料理で居酒屋使いもできる和食屋が夢でした！

所在地/新宿区荒木町3 フォレストビル1階 電話/03 (6273) 2362



た明るい店内や、店名の由来にもなっている羊のぬいぐるみ

店主の須崎一城さんはこれまで21年の調理や店舗運営経験があり、独立するなら山手線の内側で、と考えていたそうです。予算に見合った荒木町の物件はよい出会いだっただけです。店舗は約70㎡、32席の配置はオーソドックスですが宴会時にレイアウトを替えても十分な広さです。制度融資は主に内装工事と厨房機器に使いました。

### 顧客開拓の鍵は女性客

開業当初の半年間はディナータイムの集客が思うように出来ず、とても苦しかったと須崎さんは振り返ります。荒木町は固定客の多いエリア。店の存在を知ってもらうためには、まずランチ客を取り込もうと考えたそうです。



写真左から妻のゆかりさん、須崎さん、女将の富岡さん

「なので、うちは店の外にもメニュー看板を置いていきます。地道に少しずつ、今できることを続けて頑張っていきたいですね」

### 初めての方でも「入りやすい店」に

荒木町の夕暮れはちょっとしたラビンス。しかも、佇まいを見ただけでは何のお店かわからないところもあります。それでは入りづらいもの。「なので、うちは店の外にもメニュー看板を置いていきます。地道に少しずつ、今できることを続けて頑張っていきたいですね」

## kitchen428

肩肘張らない気楽なお店を目指しています！

所在地/新宿区荒木町7 安藤ビル1階 電話/03 (6318) 0421



料理の下準備も丁寧に行います。が、お店をひとりで切り盛りしているため、保存の

### ひとりでも無理なく店を回すための工夫

「飲むだけでなくご飯もしっかり食べられるお店をやりたいかったです。」と開口一番。人気の鶏白レバーのムースは、新鮮なレバーをオーブンで低温調理してなめらかに仕上げたもの。トリップパ半ハチノスのトマト煮込みもワインによく合う欧風料理です。美味しい手づくりメニューの数々に渋谷さんのシェフとしての経験が光ります。

### 自ら仕込むオリジナルメニューが充実

バーテンダーから洋食シェフまで、飲食業で幅広い経験を持つ渋谷淳さんは、平成25年4月にワインと欧風料理のお店をオープンしました。独立にあたっては初期投資をできるだけ抑え、借入れの少ない無理のない資金計画を立てたそうです。店内も前店舗の内装をうまく活かし、制度融資を利用して厨房の設備を充実させました。



店名の428は「よつや」と「しづや」をかけています

効く材料はまとめて購入しコスト削減に努めています。オープンキッチンとしたのは、「お客様とコミュニケーションがしやすく食事の進み具合が把握できるから」なのだそうです。ドリンクメニューをワイン中心に揃えたのも、運営を考えてのこと。グループ客がボトルで注文すれば、その間は飲み物のオーダーが入らないので調理に専念できるからです。営業時間は夕方から深夜まで。夕方と深夜では客層が全く違うのも荒木町らしいところ。荒木町で働く人々が仕事帰りに寄るお店としても人気です。「お客様も私も肩肘張らずに済む、そんな店をこれからも目指します」



## 焼鳥 おがわ

## 脱サラして中学時代の夢を実現!

所在地/新宿区荒木町9-1 ウインド荒木町1-A 電話/03(5315)4630



メニューはコース料理としています。季節感のあるお通しに始まり、鶏の刺身や白レバー

仕入れる鶏肉は「ホロホロ鳥」の丸鶏。開店前に自分でさばきます。ホロホロ鳥は飼育が難しく仕入れ値は高くなりますが、生産者から買うことで安心安全を守っています。羽から採れる肉の分量は限られているので

**「ホロホロ鳥で鶏肉の本当の美味しさを知ってもらいたい」**

と美味しいものを食べたいお客様に「プロイラーにはない美味しさを提供したい」。中学時代から焼鳥屋をやりたいという夢は、そのように実現しました。

荒木公園のすぐそばに位置する「焼鳥おがわ」は白木に白いのれんが目を引きます。店主の小川拓道さんは27歳で脱サラし、その後約10年、大手焼鳥店で店舗運営を学び、阿佐ヶ谷大塚の焼鳥店での修業を経た後平成25年7月に開店しました。



店主の小川さん(写真右)とスタッフの皆さん

お客様の多くは40-50代。荒木町には美味しい料理を食べ慣れている方もたくさんみえます。もう少し余裕ができればマガモなど違う鶏肉にもチャレンジしてみたいですが、美味しい素材を美味しく料理することは常に心がけていきたいです」

**いい加減な仕事はできないという**

のバーベキューのスープも楽しめます。美味しい鶏をさらに美味しく味わってもらうためには料理を出すタイミングにも配慮するという小川さん。「順番をこちらで決めるなんてちょっとおこがましいかもしれませんが、鶏一羽でも部位によって味が繊細に違いますから。トータルで召し上がっていただくことで鶏ってこんなに美味しいんだ」と知っていただけたらうれしいですね」

### 飲食店はもちろん、事務所の開設も大歓迎!!

## 商店街空き店舗活用支援融資

区内の商店街に活力ある事業者を呼び込み、賑わいあふれる商店街を創出するための中小企業向け制度融資です。

商店街の空き店舗を活用して創業する事業者に対し、特例としてより有利な利子及び、信用保証料の補助を受けることができる融資をあっせんしています。

融資を希望する方は、産業振興課で面談を受けていただきます(予約制)。

利用要件等詳しくは、お問い合わせください。

### 創業資金(借主特例)融資制度

【対象者】 区内の商店街にある空き店舗<sup>\*</sup>を借りて、新たに店舗を出店・事務所を開設し、創業しようとする方

【貸付限度額】 1,000万円(既に創業して、創業後5年未満の方は2,000万円)

【貸付期間】 7年以内(うち据置期間12か月以内)

【年利】 2.1%以下

【年利本人負担】 なし

【信用保証料の補助】 支払った信用保証料の全額を補助

\*空き店舗=区内の商店街にある1か月以上商業活動を行っていない店舗・事務所(倉庫は不可)

【問合せ先・面談予約】 地域文化部産業振興課 電話(3344)0702

### 古き良きまちを盛り上げる若い力

荒木町商店会会長 若林 勇太さん

荒木町周辺は昔からの老舗に加えカジュアルな店や新しいエネルギーな店舗も増え、より厚みのある街へと変化してきています。お客さまもゆるやかに世代交代が進んできているような気がします。最近、新宿区の「空き店舗活用支援融資」制度を利用する若い店主が増えています。空き店舗が少なくなることで、お客様にとって魅力ある街となり、その魅力が新しく出店する店主を魅きつける、という好循環が生まれています。とは言いましてもまだまだ敷居が高い、とのお声もありますので、去る11月には「ミシラン2014」という街ハル的な企画をとりの杉大門通り商店街人気会と一緒に開催して、来街しやすいシステムで荒木町・杉大門一帯の飲食店を楽しんでいただきました。





## 「社員第一主義」をモットーに他社にない視点で売っていく

**ユニークな部分を強化したい**

「株式会社インフォメーションポート」は受注システム開発、システム開発支援、システムパッケージ販売等を主な生産品とする情報サービス提供企業です。現代のビジネスにはあらゆる業種・分野にITのニーズがありますが、インフォメーションポートの強みは、特定の業種や分野に偏らず、さまざまな業務系システムを構築・支援できる技術力。代表取締役の鈴木直文さんがたった2名で10坪の事務所から会社をスタートしたのは1996年でしたが、それまでにプログラマーの経験もあった鈴木さんは、将来を見据え「他企業とは違うことができる会社、ユニークな部分を強化できる会社」を立ち上げたいと思ったのだそうです。

今では従業員130名。毎年、新卒



代表取締役 鈴木 直文さん

「仕事が大好きで連日の深夜残業をいとわない人であつても、そんな働き方をしていたらいつか体を壊しま

境でした。」「仕事が大好きで連日の深夜残業をいとわない人であつても、そんな働き方をしていたらいつか体を壊しま

「プロ意識の高いエンジニア集団であり続けたい」という鈴木さんの信念は、優秀な人材が快適に働くための環境づくりにも反映されています。日本がバブル景気に湧いていた頃、

者10名を採用するまでの規模に成長しました。  
**将来の自分を想像できることが大切**



自社開発したタブレット端末用アプリケーション「The 3D昆虫」

「仕事が大好きで連日の深夜残業をいとわない人であつても、そんな働き方をしていたらいつか体を壊しま

境でした。」「仕事が大好きで連日の深夜残業をいとわない人であつても、そんな働き方をしていたらいつか体を壊しま

「技術者」がやりたい仕事を「営業」がとってやる好循環

「10年、20年後の自分がどうありたいのか。どんな将来が開けているのか。若い技術者たちが60歳になっても働ける、将来性を見通す会社にしていきたいですね」

「技術者」がやりたい仕事を「営業」がとってやる好循環

**※新宿区ものづくり産業支援事業補助金**  
区内のものづくり産業を支援するため、新製品・技術開発事業や販路開拓事業を行う中小企業等に対して補助金を交付する制度です。



計算力向上が期待できる駒取りゲーム(写真左)と理科・工作の手順を学べるアプリ

「今後3D画像やAR(拡張現実)など最新技術にこだわり、さらに新しいサービスを開発していきたい」と抱負も語ってくださいました。



## 革を楽しみ革でつくる技術を次の世代に伝えるのが仕事

**一念発起で弟子入りし  
今年で創業8年目**

皮革製品の魅力は使い込むほどに手になじみ、時間の経過とともに風合いが変化していくところにあります。しかし皮革製品とひとこといっても種類はさまざま。自分の好きな色、好きな質感の皮革を使った、世界にひとつしかないオーダーメイドの鞆は、既製品にはない個性が表れています。

神楽坂に構える工房「鮎藤革包堂」。その店主である鮎澤剛さんは平成24年度の「新宿ものづくりマイスター」(※)に選ばれました。

「子どもの頃から皮革に興味がありました。それを仕事にしようと思った。ただ一度会社勤めをしたものの、やっぱり何かつくりたいと思い、そこで改めて革への思いが湧いてこ

「の世界に飛び込みました」

下北沢や代々木の革製品を扱う店で経験を積んだ後、国内有数の皮革産業地である埼玉県草加市の工房で修行。創業は今から8年前ですが、鮎澤さんが鞆づくりに携わって今年で23年になります。

**重要なのはお客様の望みを  
汲み取る能力**

鮎澤さんの鞆は当然ながらすべて手づくり。鞆づくりの依頼を受ける時、どんな鞆がほしいのかじっくり話し合い、用途や予算に応じて使用する皮やデザインを検討します。

「鞆は強度をしっかりと出せる手縫いが理想的ですが、製作期間が長くなりコストも高くなってしまいます。ミシンを使えば早く作業できる分、価格を抑えられます。職人に必要なのは技術力だけではありません。ですからそのへんもお客様が何を求めているかを汲み取って決めていきます」

1カ月で製作できる数は限られていて、男性用のブリーフケース3個程度と定期入れなどの皮小物がせいぜい5〜6個。注文を受けてから納品までは、平均して2カ月程度はかかります。

「実は開店直後にある雑誌が店を紹介してくれたのですが、注文が殺到して数年分



左上：ハンドルも革でつくります 右：デザインはお客様のオーダーが中心

のバックオーダーを抱えてしまったんです。仕事がたくさんあるのはありがたいことなのですが注文をこなすだけで精一杯。新規の依頼をお断りしていた時は本当につらかったです」

**技術は伝えなければ  
消えてしまう**

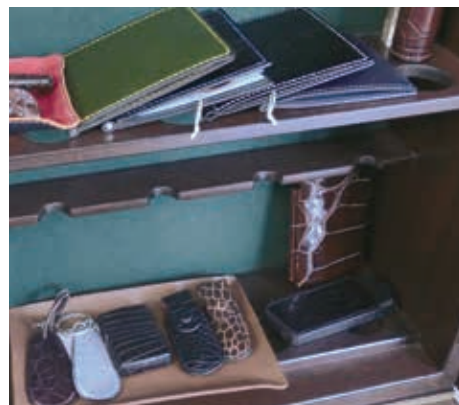
自分で鞆をつくり、直接お客様に届けられるから今の仕事を続けているという鮎澤さん。時折パートなどから出店依頼があっても、すべて断っているそうです。今の関心事は「人を育てること。技術は継承していかなければ廃れてしまうという危機感がここ数年強くなってきたと言います」

「皮革製品の加工技術は世界的に見ても日本はトップレベルです。しかし、ものづくりの拠点が海外に移り、国内の仕事量が激減しました。職

人の数が減れば技術も消えて行きます。私の技術を次の世代にきちんと引き継がなければと思っています」

鮎澤さんの工房は大久保通りに面し、店内は作業場にもなっています。現在見習いとして来ている人は、鮎澤さんの仕事ぶりをガラス越しに見て鞆づくりに魅かれたと言います。また、店にある年代物の総革スーツケースは近所のお客様が「店の雰囲気合うから」と下さったもの。

「開店してまだ10年しか過ぎていないのに、皆さんに気にかけていただいてありがたいです」



小物はバッグと同じ色・素材でそろえることもできます

**※新宿ものづくりマイスター  
(技の名匠)**

区内のものづくり産業の振興を目的に、区内でもものづくり産業の同一業種に10年以上従事し、優れた技術・技能を持ち後進の指導を行っている方を「技の名匠」として認定する制度です。



## 「鮮」つくりました!

～新宿のお肉屋さん・八百屋さん・お魚屋さんを紹介しています～

区内の生鮮三品小売店の活性化を目的とした支援事業のひとつとして、今年度は個店紹介の冊子「鮮」を作成しました。

掲載の35店のほとんどが長い歴史をもつ老舗です。その道一筋、質・味・旬への店主のこだわりを感じます。大型店とはちがうface to faceのサービスも魅力です。

「あ、美味しい!」笑顔が思わずこぼれる“本物”が揃うお店。地図も出ていますので、冊子片手にぜひ足を運んでみてください。意外と身近なところにお気に入りのお店があるかもしれません。特別出張所や区立図書館にて配布しています!



【問合せ・申込先】 地域文化部産業振興課  
電話 (3344) 0701

## クリエイター起業塾を開催

～デザイナー、ライター、イラストレーターで独立を目指す方、必見～

チラシなどの印刷物からWEBまで幅広く活躍するクリエイター業。デザイン、テキスト、イラストなどで商品やサービスの付加価値を高めたり、新しい価値を生み出すために重要な役割を担っています。事業として取り組むには、自分の価値観や世界観だけではなく、企画・提案力や顧客ニーズを汲み取る力の習得が求められます。

第一線で活躍する編集者やクリエイターなどから、独立するための基本やノウハウを学ぶ起業塾。技術的な話ではなく、クリエイターが今日現在置かれている状況や、その中で生き残るためにどうすればよいのか、ということを学びます。

- |      |  |
|------|--|
| 日時   | 平成27年1月31日(土)～3月7日(土) 毎週土曜日 15:00～17:00<br>※全6回のカリキュラムとなります。   |
| 対象内容 | クリエイターとして独立を目指す方、すでに独立された方(10名、先着順)<br>・どのようなクリエイターが求められているのか?<br>・クライアントに企画を提案するには、どうすればよいのか?<br>・活躍の場を広げるために、すべきことは何か? |
| 講師   | 石原正康氏 (株式会社幻冬舎 専務取締役、編集者)<br>たかぎりょうこ氏 (コミックエッセイ作家) 他<br>※その他の講師については、HPをご覧くださいかお問い合わせください。                               |
| 参加費  | 6,000円(全6回分、資料代など)、開催初日に窓口でお支払いください  |
| 会場   | 新宿区立高田馬場創業支援センター(新宿区高田馬場1-32-10)   |
| 申込締切 | 1月29日(木)   |

【問合せ・申込先】 新宿区立高田馬場創業支援センター  
電話 (3205) 3031 FAX (3205) 1007 メール incu@shinjuku-center.jp  
※氏名、電話番号、現在の仕事内容を伝えてください。

## 製造業を営む事業所の皆様へ 工業統計調査にご協力をお願いします

経済産業省では、工業統計調査を毎年12月に全国一斉で実施します。  
平成26年12月31日現在の状況を調査します。

この調査は製造業を営む事業所を対象に、1年間の生産活動に伴う製造品の出荷額や原材料使用額などを調査し、製造業の実態を明らかにすることを目的としています。

調査結果は、国や地方公共団体の施策立案の資料や、民間企業のマーケティングや大学の研究資料など国民生活の幅広い分野で活用されています。

調査をお願いする事業所には、調査員証を携帯した調査員がお伺いしますので協力ください。

なお、調査票に記入していただいた内容については統計法により厳重に保護されますので、ご安心の上、正確なご記入をお願いします。

【問合せ先】 地域文化部地域調整課統計係 電話 (3351) 6601(直通)



工業統計マスコットキャラクター  
コウちゃんズ

創業をお考えの方へ  
土曜日・日曜日でもOK

## 創業に関するご相談、承ります

事前予約制

～日本政策金融公庫 国民生活事業 東京ビジネスサポートプラザ～

東京ビジネスサポートプラザでは予約制による創業についての相談(無料)を承っています。お気軽にご相談ください。

- |      |  |
|------|--|
| 日時   | 毎週土曜日(祝日除く)毎月第1・3日曜日(祝日除く) 9:00～12:00 13:00～15:00 ※平日も9:00～17:00に事前予約制でご相談を承っています。 |
| 会場   | 東京ビジネスサポートプラザ 東京都新宿区西新宿1-14-9 日本政策金融公庫 新宿支店 国民生活事業                                 |
| 対象者  | ・創業をお考えの方 ・これまで当公庫(国民生活事業)を利用されたことのない事業者の方   |
| 相談内容 | 公庫の融資制度のご案内、事業計画書作成のポイントなど   |
| 申込方法 | 事前予約制ですので、お電話でお申込みください。  |

【問合せ・申込先】 日本政策金融公庫 国民生活事業 東京ビジネスサポートプラザ  
電話 (3342) 3831 受付時間 9:00～17:00(土日及び祝日除く)

**JFC** 日本政策金融公庫  
国民生活事業

ご利用ください

# BIZ新宿

新宿区立産業会館

東京メトロ  
丸ノ内線  
「西新宿」駅より  
徒歩5分!



BIZ新宿(新宿区立産業会館)では、個人事業者、中小企業の方々にご利用いただけるホールや会議室を設けています。研修・会議・採用試験等にご活用ください。



研修室A(177㎡)



研修室B(35㎡)



研修室C(49㎡)



和室(10畳×2室)

## 利用案内

### ■ 利用目的

個人事業者、中小企業の方々、研修、会議、採用試験等にご利用いただける施設です。趣味の会合、物品の販売、会員勧誘及び入場料を徴収しての催物等にはご利用できません。

### ■ 利用時間

午前	午後	夜間	全日
午前9時～ 午前12時	午後1時～ 午後5時	午後6時～ 午後10時	午前9時～ 午後10時

※利用時間には、準備と片付けの時間を含みます。

### ■ 受付時間 午前9時～午後7時

### ■ 受付場所 管理事務室・LB階(2階)

### ■ 休館日 毎月第2月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月29日～1月3日)

#### 【施設・予約・利用に関する問合せ先】

新宿区西新宿6-8-2 BIZ新宿(区立産業会館)LB階 管理事務室  
電話(3344)3011

## 利用申込み

### ■ 申込期間

	区内事業者・ 区内産業団体・勤労者 (区内在住者または区内在勤者)	その他
多目的ホール・楽屋 研修室A	利用日の6か月前の同日 から利用日の前日まで	利用日の5か月前の同日 から利用日の前日まで
研修室B・C、展示ホール 商談室、和室	利用日の3か月前の同日 から利用日の前日まで	利用日の2か月前の同日 から利用日の前日まで

※申込開始日から先着順に受け付けます。

※申込開始日が、休日及び休館日にあたるとき、または対応する日が暦にない場合はその翌日からとします。

※申込締切日が、休日及び休館日にあたるときは、その前日までとします。

### ■ 申込方法

来館が原則ですが、来館の前に電話予約も可能です。予約した日の翌日から3日以内に利用手続きをお願いします。利用手続きがない場合は、予約を取り消します。

### ■ 施設等使用料

下記のとおりです。利用手続きの際、お支払いください。

## 施設等使用料

区分	定員	午前(9～12時)	午後(13～17時)	夜間(18～22時)	全日(9～22時)	区分	定員	午前(9～12時)	午後(13～17時)	夜間(18～22時)	全日(9～22時)
多目的ホール	椅子228名(前93名)	13,400	17,800	22,400	48,200	和室	30名	3,700	4,900	6,200	13,300
楽屋(2室)	各6名	1,800	2,500	3,100	6,600	研修室A	96名	9,600	12,900	16,200	34,800
展示ホール	—	3,600	4,800	6,000	12,900	研修室B	10名	1,900	2,500	3,200	6,800
商談室	15名(円卓12名)	2,300	3,100	4,000	8,400	研修室C	19名	2,600	3,600	4,500	9,600

(単位:円)



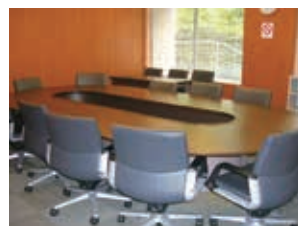
多目的ホール(245㎡)



楽屋(15㎡・17㎡)



展示ホール(66㎡)



商談室(43㎡)



経営でお悩みの方へ **あなたの事業所に専門家を派遣**

**無料です!! 複数回利用可能!!**

経営に関わるお悩みをお持ちの事業所や商店等へ、新宿区は中小企業診断士を無料で派遣します。第三者からの客観的なアドバイスが欲しい場合はお申し込みください。

【相談事例】

- ・売上増加に向けて効果的な広告宣伝方法を知りたい。
- ・事業計画の立て方についてアドバイスしてほしい
- ・海外展開や販路拡大についてアドバイスしてほしい
- ・新規顧客を増やすため、店舗を直接見てもらいながらアドバイスがほしい
- ・資金繰りについて相談したい。(国や都などの企業支援事業情報も知りたい)

【対象者】

区内中小企業者、個人事業主、商店等

【申込み方法】

所定の利用申込書に必要事項を記入のうえ、お申し込みください。詳細は産業振興課に「ビジネスアシスト新宿について」とお問い合わせください。

【問合せ先】 地域文化部産業振興課 電話 (3344) 0701

**中小企業展示会等出展支援補助金**

～第4四半期募集～

新宿区では平成26年度より、販路拡大を目的とした展示会・見本市等へ出展する新宿区内の中小企業に対して補助金を交付する制度を開始しました。平成27年1月5日より第4四半期の募集を行いますので、詳細はお問い合わせください。

**対象**

新宿区内の中小企業者

**補助金額**

1件10万円まで(出展小間料の2/3以内)

**申込み方法**

交付申請書に必要な書類を添えて地域文化部産業振興課までお持ちください。第4四半期応募件数(5件程度)に達し次第受付を終了いたします。

【問合せ先】 地域文化部産業振興課 電話 (3344) 0701  
※「応募要項」と「交付申請書」は、区ホームページからダウンロードできるほか、地域文化部産業振興課でも配布しています。

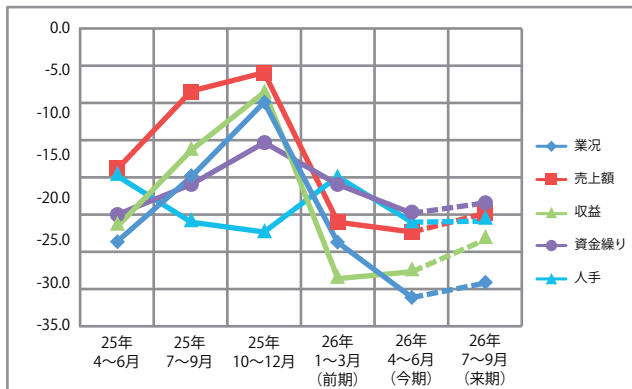
平成26年7月～9月期

**新宿区中小企業の景況**

1. 調査時期 平成26年9月下旬
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査対象業種 製造業(48件)、印刷・同関連業(44件)、染色業(16件)、建設業(48件)、情報通信業(52件)、卸売業(54件)、小売業(71件)、飲食・宿泊業(69件)、不動産業(61件)、サービス業(87件)  
※カッコ内は有効回答数
4. 調査機関 (株)東京商工リサーチ

●項目別D.Iの推移(全体)

※点線は来期の予想



業況：経済全体の景気状態ではなく、個々の企業ないし産業の景気状況。  
D.I(ディーアイ): Diffusion Index(ディフュージョン インデックス)の略で、増加と答えた企業の割合から、減少と答えた企業の割合を差引いた数値のこと。D.I値がマイナスの場合、業況・売上額・収益・資金繰りは不調傾向を、人手は不足傾向を示す。

新宿区では区内中小企業に対する「景況調査」を年4回実施しています

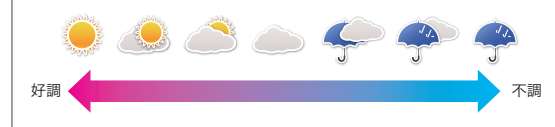
●7月～9月期の特徴

業況D.I(「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は-36.0と、前期(平成26年4月～6月)の-28.8から低迷した。来期(平成26年10月～12月)の見通しは-34.4で、わずかに改善すると見込まれている。

●業種別調査結果(7月～9月期)

製造業	印刷・同関連業	染色業	建設業	情報通信業
☔	☔	☔	☔	☁☀
卸売業	小売業	飲食・宿泊業	不動産業	サービス業
☔☁	☔	☁	☔☁	☔

景況調査の読み方



※景況調査の詳細は、新宿区ホームページでご覧いただけます。